

No. 43
1990年 新年号

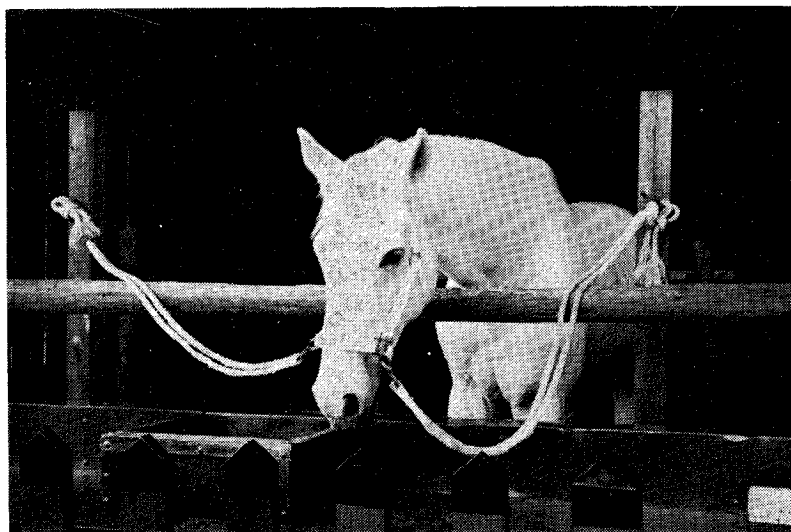
診断京都

(題字 橋口会長筆)



このパンフは(社)中小企業診断協会京都支部が発行しております

京みどころ



上賀茂神社の神馬 神山号

(中野善蔵, 理事)

目次

〈京みどころ〉 写真	1頁
〈あいさつ〉 1990年の新春を迎えて	2
〈提言〉 サービスの基本は順番	2~3
〈講演〉 今後の日本, 世界の経済見通し	3~4
〈資料〉 京都企業の業績見通し	5~6
〈呼びかけ〉 診断研究会に集まろう	7
〈研究会だより〉	7
〈随筆〉 息たえだえ, ふらつく脚のレポート	8~9
〈京都支部だより〉	10
〈会員の頁〉	11
〈企業の頁〉	12



中小企業診断士マーク

☆社団法人中小企業診断協会京都支部は, 中小企業診断士で作っている団体で, 京都府内の各分野で活躍している約100名の診断士が加入しています。
☆中小企業診断士とは, 通商産業大臣の認定を受けて登録している, わが国唯一の公的資格を有する経営コンサルタントです。

あいさつ

1990年の新春を迎えて

中小企業診断協会京都支部

支部長 黒川 倉市

年頭に当たり、まず皆様方にはご健勝とご多幸のうちに新春をお迎えになり、心からお喜び申し上げます。

平素京都支部の運営につきましては、格別のご指導ご支援を頂き、お陰で昨年もまた平穩裡に且つスムーズに経過致しました。ここに厚くお礼申し上げます。

さて、この1年を顧みまして、まず政府指定法人事業に係る中小企業診断士の認定資格の登録手続業務については、制度改正に伴いこの年度は更新登録手続を必要とせず、一部新規の資格取得者の登録手続のみに限られましたので、滞りなく手続を終了致しました。いっぽう例年の如く中小企業診断士に課せられた法定研修などの重要な受託事業も何らのトラブルをひき起こすこともなく、その実施を終えることができました。

次に会員の資質の向上を養い、ますます経営的視野を広げるための月例経営診断研究会、講演会の開催。また会員相互のコミュニケーション、情報交換に役立てる機関誌「診断京都」の刊行など、これらの事業活動は文字どおり定着しております。

更に京都市からの受託経営調査業務も既に連続8年の実績を重ね、これに次ぐ京都商工会議所及び城陽商工会議所との委託契約に基づく診断指導業務も実現の運びとなり、職域の拡大に少なからず効果をもたらすものと確信致します。

昨年の行事として特筆すべきは、当京都支部創立30周年記念事業であります。ご承知の如く去る11月会員各位の絶大なご支援ご協力並びに府・市ご当局をはじめ関係諸団体の強力なご後援の下に盛大な記念式の挙行と記念講演会を開催することができました。私どもは意義深いこの行事の趣旨を肝に銘じ、これを契機に、さらに当支部の将来的発展への途を模索し続けなければならぬと存じます。

今春には創立30周年記念事業の一環として機関誌「診断京都」臨時号の増刊が予定され、いっぽう診断指導業務の面でも活動分野の広がりも期待されています。

今年もまた、格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

提言

サービスの基本は順番

奥平恒巳

(その1) ある金曜日であった。何も金曜日に限ったことではないが、私が偶々(?) 出くわしたのは11月半ばの金曜日であった。その日の昼食を普段比較的空いているA百貨店の7階大食堂で摂るべく出かけた。果して楽に席に着くことができた。テーブルに近づいたあたりで「いらっしゃい!」という女店員の声を聞いた。ところがである。テーブルに着いて待てど暮せど一向に食券(注文)取りに来ない。私より後から来た2人連れや3~4人グループの客へは水の入ったコップを持って注文を取りに行っている。それでも辛抱していたが全然来ない。しびれを切らしてこちらから呼びかけようとしたが、そこらあたりに店員の姿は全然見当らない。そのうちに2人の店員が揃って出て来た。声をかけたところ30歳ぐらいの女性はこちらへ顔を向けたが、返事をせずに行ってしまった。もう1人の20歳前後のアルバイト女子学生風の店員がやっと食券を受け取って行った。食堂へ行ってから待つこと約30分、やっと注文の中華丼セットが卓上に乗った。それでもまだ水がこない。食事を運んで来た20歳台のアルバイトの

学生風の男性にそのことを言って、やっと食事のお膳立てができた次第。

(その2) 勤めを終えて帰途の午後6時頃、京都でも大きなB書店に立ち寄り870円の経営書を買った。カウンターに女店員2人がいて、1人が応待し、1人は背を向けて本を整理していた。本を買う客が3人並んでいた。私は2番目だった。突然背を向けていた女店員が向き直って「はいどうぞ!」といって手を出し3番目の客の勘定をした。順番を待っていた私はあ然とした。

◇客を相手にする商売は、客を公平に扱うことが肝心である。公平に扱うことの基本は先着順に接待することなのである。接待方法をマニュアルで教育するのもよい。しかし、心がこもっていないとダメだ。心がこもっていれば応用動作においても生きてくる。(副支部長)

講演

今後の日本・世界の経済見通し

新日本証券調査センター

常務取締役 長 島 恒 雄

世界はいま、大変めまぐるしく動いている。余り変化が激しいので、どう判断していいのかわからなくて困っているのが実情だ。

〈東西ドイツ統合と大ヨーロッパ〉

89年はエトでいう巳の年だった。巳の年は昔から大きな変革がある年といわれてきた。89年も例外ではなかった。国内では、当分安泰だとされていた竹下内閣がリクルート事件の責任をとって辞任し、夏の参院選では社会党が勝利するという、何10年振りかの変化を見せた。世界の変化はなお大きい。東西ドイツの壁は事実上取り払われ、東からも自由に入出国できるようになった。この調子だと、東西ドイツの統合は意外に早いのではないかと期待さえ抱かせる。

現在、西ドイツには憲法はなく、基本法が代役を果たしている。憲法はドイツ統一後に制定すると説明されてきたが、今日の様な変化を見ると、ドイツ人の深慮遠謀ぶりには驚かされる。

92年のEC統合を控えて、ヨーロッパではサッチャー英首相、ミッテラン仏大統領の主導権争いが目立つが、事態の展開は予想以上に早い。ECには12カ国のほか、東ドイツやオーストリアが加盟を希望している。EFTA 諸国や東欧、ソ連の加盟も将来、考えられなくはない。そうなると、人口7億人の大ヨーロッパが実現するという夢の様な経済圏が実現することになる。

〈共産主義と自由主義〉

第2次世界大戦後、世界はソ連を中心にした共産圏と、米・英・仏を中核にした自由主義圏に二分され、覇を競ってきた。しかし、今日の事態を迎え、共産圏の経済体制の失敗は明白になった。社会主義経済体制はなぜうまくいかなかったのか。原因に3つのムダを指摘する意見がある。人のムダ、時間のムダそれに働かないことによるムダだ。荒っぽい議論だが、真理の一面を突いている。

中国では自由化要求に武力弾圧で答え、経済開放政策は修正を余儀なくされている。だが鄧小平が指導してきた「もっと働かねばならない。モノを作らなければよくならない」という路線は間違っていなかったと思う。ただ行き過ぎて、インフレを招いたのが失敗だった。

では、なぜ中国政府は人民に銃口を向けたのか。中国にはこれまでデモがなかった。このため、政府は放水してデモ隊を解散させるといった鎮圧の方法を知らなかった。それに、鄧小平

(4) 診断京都

には文化大革命時につるしあげを食った恐怖感が、武力行使に向かわせたのではなからうか。

《日本は世界の優等生》

資本主義社会の優等生は日本だ。GNPは2.6兆ドル。世界人口の2.5%しかない日本が、世界GNPの14%を占めている。ソ連、東欧のGNPを合わせてもなお及ばない規模だ。NIESに次いでタイ、マレーシアなどアジア諸国の経済も発展しており、低迷する東欧圏と好対照である。

数字的には日本に劣るとはいえ、米国の底力はやはりすごい。日本の好況は米国経済に支えられている面が多い。一方、米国も近年日本への依存度を高めている。なのに日米間にはこのところ不協和音が目立つ。両国とも別れる気持ちはないのに、けんかしている夫婦のようなものだ。

けんかの原因は、日本が米国の得意分野のほとんどを奪ってしまったことによる。自動車や電気製品などは日本製品の方がはるかに品質がよい。米国が誇るものといえば飛行機とコンピューター位なものだが、これらの部品も日本が供給している。他にいばれるものは農業だ。つまり、米国商品で国際競争力があるのは、加工度の一番高い製品と一番低い農産物。中間は日本が奪った格好だ。この日本製品を最近韓国、台湾が追っている。

《レーガン政策の功罪》

米国経済はまる7年間拡大を続けている。強いアメリカの建設を目標にしてレーガン前大統領はまず所得税率を大幅に下げた。貯蓄に回るはずの減税分の所得が消費に向い、米国はその後、財政と貿易の“双子の赤字”に悩むという目算狂いはあったが、日本を含めた世界の経済を活性化させた功績は認めざるを得ない。

双子の赤字対策についてはいろいろ議論されているが、米国政府は借金で補っている。国債の3分の1は日本の金融機関が買っている。最近、ソニーがコロンビア映画を、三菱地所がロックフェラーの不動産会社を買収して米国のマスコミに攻撃されているが、商業ベースで行う投資は非難すべきでないというのが一般的見方だ。それにソニーやホンダを外国企業扱いしない空気さえある。日本の大幅な対米貿易黒字は、自動車の米国内生産が軌道に乗り、対日輸出でも始まれば、数年の内に解消しよう。

《景気はなお拡大基調》

日本の景気は設備投資と消費で引っ張るといふ内需主導型の拡大が続いている。特に設備投資は深刻な人手不足を反映して、合理化省力化投資が活発だ。

人手不足には外国人労働者の入国を合法化して対処せよとの声があるが、ヒトの自由化は慎重に行いたい。人道的には善処しなければならないが、容易に入国を認めると中国からだけでも2千万人は来るといふ説もある。大都市に集中すれば、都市機能のマヒは確実だ。

90年の日本経済は華々しさはないが、力強い上昇が続くとみる。不況に陥る理由は見当らない。景気はすでに37カ月連続して上昇している。昭和40年10月から57カ月続いたいざなぎ景気を抜く勢いさえ感じられる。株や為替については、先進国間の協調体制が確立しているので、暴落をさほど心配していない。経済運営の技術が進歩したというわけだ。

(本稿は、平成元年11月11日挙行の「京都支部創立30周年記念大会」における、長島恒雄氏の講演内容を、当支部でとりまとめ、同氏のご了承を得たものである。)

資料

京都企業の業績見通し

京都府中小企業総合センターの「京都企業がみた来年の景気動向と経営の見通し」（平成元年12月22日発表）から引用した。

この調査対象は、府内に事業所を有する中堅クラス以上の企業 216 社である。

89年の売上・採算実績と90年の予想

～引き続き好調ながら、繊維はやや弱含み～

売上げと採算

▼回答企業の89年売上げ実績の状況は第1表のとおりである。引き続き好景気を反映して、前年より5%以上売上げをのばした企業が全体の60.3%を占め、横ばい（±5%未満）とする企業の29.4%、5%以上減少とする企業の10.2%を大きく上回るなど順調な業績を示した。ただし、88年実績との比較では、「5%以上増加」が6.7ポイント減少、「横ばい」が7.4ポイント増加、「5%以上減少」が0.8ポイント減少しており、全体として「売上げ増」から「横ばい」へわずかにシフトする業績の頭打ち傾向が表れている。

業種別にみると、売上増加企業の割合が高いのは、小売業75.0%、機械金属製造業74.3%、サービス業72.7%などであり、景気の拡大を支える個人消費と民間設備投資の好調を裏付けている。一方、和装関連需要の伸び悩みが続く繊維製造業では、88年実績に比べ若干回復をみたものの、売上減少企業割合は18.1%で全業種中最も高く、企業間の業績格差も目立っている。

89年の採算（経常利益）の動向は第2表のとおりであり、「黒字基調が続いた」とする企業が72.9%に達し、「赤字から黒字に転換した」企業を含め、前年並みの約8割の企業が黒字確保の好成績を残した。

▼次に、90年の売上げ見通しを見ると、第3表のとおり、前年より5%以上増加を予想する企業が全体の半数を超え、引き続き拡大基調が見込まれている。

しかし、89年実績との比較では、10%以上の高い伸びを予想する強気の企業が半減し、横ばいもしくは小幅の増加へシフトするなど総じて控え目の見通しとなっている。業種別には、小売業、機械金属業で引き続き増加予想企業割合が高く、逆に繊維製造業では減少予想企業が3割を超えた。

また、90年の採算見通しは、第4表のとおりで、全体的には89年実績並みの黒字基調が維持される見通しであるが、繊維製造業では黒字から収支トントンへやや後退の傾向がうかがえる。

呼びかけ

診断研究会に集まろう

安 田 徹

経営診断研究会は昭和59年に発足して以来、5年58回の研究会を重ねてきました。その目的は「会員相互の交流により、経営診断・指導能力の向上を図るための、自己啓発を行う」となっています。

診断協会京都支部の中で、実質的な診断士の交流の場はこの会以外にはありません。一口に診断士といっても、工業・商業・情報の三部門があり、又個々の診断士は、診断士として専業で大活躍をされている先生は勿論、会計事務所を兼業されている先生、金融機関等の企業内で活躍されている先生、府・市の中で活躍されている先生等、様々な形でその資格を活かされている場合があります。しかし、充分にその力を発揮されている診断士は少数派であると思います。診断士の資格を取得された時の目的は、資格取得ではなく、資格を活かす事であったと思います。情報化の進展や国際化の波はますます勢いを増して、“経営”に押しよせてくるでしょう。経営の要素が複雑かつ不透明になればなるほど、診断士に対する潜在的なニーズは増加するはずです。診断要素や角度も複雑化するでしょう。診断士に限らず他の“士族”の世界でも一人でやって行く時代ではなくなっています。情報の交換、相互の研鑽はもとより、診断士同志が交流の中から「組合せによる新しい業務等を創造する」こともできます。公的機関の提携の受け皿にもなるでしょう。

「中小企業診断士」の資格をいつもピカピカにしておきたいと思いませんか。診断研究会はベテラン先生だけの交流の場でもなければ、専業診断士だけの場でもありません。できるだけ多くの人が集まってこそ意味があると思います。まず参加しましょう。自分の思いと違っても、続けて参加すれば必ず良い結果が得られると信じています。(理事)

研究会だより

経営診断研究会は毎月第2金曜日に開催している。

4月以降の実績は下表のとおりである。

年 月 日	回	場 所	テ ー マ	参 加
元. 4. 14	51	京都府立勤労会館	研究の進め方・規則など再確認	8
5. 12	52	〃	時短と休日の増加対策	16
6. 9	53	〃	C. Iについて. 消費税の問題	16
7. 14	54	〃	診断士の倫理, 業界情報が欲しい	11
9. 8	55	〃	京都雇用促進センター講師募集 活性化指導事業協力希望募集 他	16
10. 13	56	〃	顧客獲得のツールについて 他	14
11. 10	57	京都府中小企業 総合センター	センター施設見学 企業活性化診断の進め方 京都産業活性化ビジョン	18
12. 8	58	京都府立勤労会館	「経営活性化指導の進め方」及び トランプ式KJ法の実習	9

随筆

息たえだえ・ふらつく脚のリポート

——健康組持型・高齢者登山報告——

高木健次

はじめに

若者の山離れが進むのに反比例して、中高年齢者の登山が地味で静かなブームをよんでいる。昨年秋には、京滋の税理士グループの立山遭難事件が発生し、このブームに警鐘を打ち鳴らしたと言えよう。

私も中小企業診断士・税理士・社労士の先生方と、仕事の合間を見付けては登山をしている。健康維持と気分転換に極めて大きな効果をもたらすと共に、ココロ（気力）も大いに鍛えられるのが嬉しい。

私の勤めていた呉羽紡績(株)の6年後輩に、橋本龍太郎君という有名人がいる、今の大蔵大臣である。新聞や雑誌によると、登山が趣味だと書いてある。しかし、要職にあるだけに、ゴルフはやっても、登山に行く時間はなさそうで、その意味では気の毒だなあと思っている。

1. '88年の登山から

本誌 No. 39 で、丁度2年前になるが、一種の予告？をしてしまったので、そのツナガリ上、'88年の登山にふれておきたい。

(1) 中央アルプス縦走（8月上旬）

親友の運転によるマイカーで早朝京都発。ロープウェイで千畳敷カールについて、木曾駒ヶ岳（2956m）に登る。ハイキング級の服装の人やジープ姿も多く、開けたのに驚いた。宝剣山荘泊。

翌日、宝剣岳をこえて木曾殿小屋まで縦走に移る。宝剣岳の南面はクサリもついているが一応慎重に行動する必要あり。左右の展望は雄大であった。第3日目。風の強い中を空木岳への登りにかかる。処々に、ロッククライミングの真似事をやる場面があり、少し緊張するが、なかなか立派な山。深田久弥の「日本百名山」の一つに入っているだけのことはある、と思った。

例年なら、ヤレヤレ今年の夏山も終りというところだが、今年は初の海外遠征（玉山）を控えているので、コレカラという気持で、駒ヶ根ICから中央自動車道に入った。

(2) 極東の最高峰・玉山へ

台湾では、3,500m以上の山へ登るのには許可が必要で、ガイドも中国山岳協会から派遣してくれる。私達のガイドは林源美氏（本人が言うに、日本式なら大正14年生れである、日本の陸軍に入隊した経験あり）であった。彼は比較的ユックリした日程を組み、それ程スピードはあげずに着実に歩く、粘り強く登るタイプのように思った。

10月1日、台北のバス乗場で日台国際登山隊が結成された。というのは、林ガイドと共に日頃ハイキングをしている人達から7人（内女性1人）に登るので、私達3人と自然に合流したのである。

高速道を一路南下し、台南市街を左に見てやがて大きく左折、東に向って昼過ぎに嘉義市に入って休憩。運転手が休息し昼食をとるので、かなりユックリした時間があった。こゝまで南下すると、10月とはいえさすがに暑いと感じる。それから、阿里山までバスは登り、阿里山賓館泊。欧風のホテルで、西洋人の泊り客もバラバラ。

10月2日、賓館前からマイクロバスに乗る。自忠山荘で朝食を済ませて、多加鞍部（標高2,700m）までマイクロバス。

鞍部から登山開始、道はよく手入れが行き届いている。がけにはシッカリした棧道がつけてあり安心出来る。私達3人はポーターを1人雇った。1人で30kgまでをかっいでくれる（1800元/日）。若い高砂族の青年が荷物を軽々と背おってくれたので、私達はサブザックに近い軽量でご満悦。

8.8kmを歩いて昼過ぎに排雲山荘（標高3,528m）に到着した。ガッチリした建物。番人は1人いるも食事はすべて自炊となっている。漢城（日本では京城だが）でのオリンピック最終日、マラソンの中山選手は勝てたのかどうか、ふと気にしながら就寝。

10月3日、AM3時に起床して、おかゆを炊いて、AM4時ライトをつけて出発。登山道がよく歩きやすい。木の高さが次第に低くなり、這い松になった処で休憩。少しづつ明

るくなり、西北西の方向に台南の市街が望めた。標高3,800mあたりでやっと岩ばかりに変化する。見れば、クサリが設けられている。無雪期には不要だが、積雪期にはこれを頼りに登るとのこと。「風口」に出る。西面から登って来て、始めて東北面に出ると、急に風が強くなる。吹き飛ばされぬようにネットが張ってあった。

岩を踏みしめて最後の登り。林ガイドが先ず頂上に立ち、登って来た10人と次々に握手。3,997mにAM6時到着。曇りで殆ど景色が見えず、強い風にあふられて、頂上の避難小屋も屋根が飛んでしまって、記念撮映やオヤツを食べるのに忙しく、寒い半時間であった。だが、未だ体力に余裕を残していたので、初の、念願の海外遠征成功を心から嬉しく思った。

2. '89年の登山から

(1) 九州最高峰・久住山群登山(5月上旬)

往復ともに関西汽船フェリー「さんふらわあ号」に乗船、2泊したことになる。

5月2日、由布院駅前からタクシーで、やまなみハイウエーを走り、牧ノ戸峠着。そこから直ちに登山開始、硫黄の臭が吹き上げて来るのを通って久住山頂(1,787m)へ。一等三角点があり、眺望が良くきき、西南方向に阿蘇山がよく見えた。

東に向って降りたが、中岳が1,791mあり、この山が最も高いので、それに登ってから法華院山荘に降りた。この山荘は標高1,303mにあり、九州最高の山の湯(ぬるい硫黄泉)。一度入湯したら、とてもぬるくてなかなか出られなかった。

5月3日、山荘に不要品をおいて、サブザックで大船山(1,787m)に登る。頂上に1時間おって、周囲の雄大な風景を眺め、昨日登った久住山群も手にとるように見えた。

平治岳を登って山荘に戻り、寒の地獄旅館(標高1,100m)に向った。

大船山から平治岳にかけての西面にミヤマキリシマの大群生が見られ、5月下旬か6月上旬頃に見頃になるとのこと。もう1カ月後に来ていたら、それを観賞出来たのに！残念！

(2) 東北地方最高峰・燧ヶ岳(7月上旬)

毎日登山の会に参加。自分で計画を組む間

のない人にはもってこいの山行きパーティ。

7月8日、鳩待峠の山荘をサブザックで出発し、至仏山(2,228m)に登る。快晴で東北、信越の二千m級の山なみをトクト眺めた。山荘でリュックを整備して尾瀬へ下った。参加者29人(内女性18人で、中年女性のハイキング、登山熱には圧倒される思い)。

尾瀬の栈道に入り、ニッコウキスゲがパラパラと咲き始めていた。初めて近くに燧ヶ岳を見た。赤田代の元湯小屋泊。本日は21.2km。

7月9日、元湯温泉小屋から見晴台に出て、沢をつめる形で登り始める。標高二千mあたりより岩が露出し始め、AM11時に柴安ぐら(2,356m)に到着。風が強くと大変寒かった。下りに泥まみれの坂にロープが張ってあり、それを頼りに燧ヶ岳の三角点(2,346m)に向った。景色は見えず、寒いので、オニギリ一ヶを急いで食べて下山の途についた。尾瀬沼山荘に泊った。今日は12.3kmと短い。

(3) 南アルプス甲斐駒ヶ岳・仙丈岳(8月上旬)

再び毎日登山の会に参加。

8月5日、伊那北ICから東へ向い、高遠を経て長谷村の仙流荘で仮眠。朝食を済ませて北沢峠にバスで7時半に到着。長衛小屋に不要品をおき、サブザックで仙水峠に向う。一行22名(内女性3名)仙水峠からは急坂、駒津峰→六方石(昼食)を経て、甲斐駒ヶ岳(2,966m)に12時半到着。かなりガスが濃く頂上からは殆ど眺望きかず。それでも降雨の気配なく降りにかゝる。気が緩むとツイねむくなる(4日夜10時梅田発のバス乗車のため、全員が寝不足)双児山を経て北沢峠に下り、長衛小屋泊。夜から降雨。

8月6日、朝から降雨。それでも半数は仙丈岳の登頂に向う。私は参加せず、近くを散歩したが、ハイキングがてらに少し登ろうとなり、少雨の中を大滝頭(5合目)から蔽沢小屋まで登ってしまった。かくて、仙丈岳は半分残してしまった。残念！

おわりに

登山をやっていると、長い時間の講義・研修を担当してもそれ程足が疲れない。大いに職業にも役立っている。'90年は、お盆に東南アジア最高峰キナバル山(4,101mボルネオ北端)登山を計画中である。

(常任理事)

京都支部だより

- 平成元. 8.1. 「診断京都」第42号を発行し、
会員並びに関係先へ配布した。
- 8.1~2 平成元年度中小企業診断士登録更新研修会を京都府立勤労会館で開催し、商業部門70名、工鉱業部門41名が熱心に受講した。
- 8.9 支部常任理事会を京都府立勤労会館で開催し、京都支部創立30周年記念大会の開催企画を協議した。
- 8.29 当協会三重県支部創立25周年記念大会が津市センターパレスホールで開催され、黒崎副支部長が出席した。
- 9.6 京都市から平成元年度「生産性と人件費」及び「販売生産性と人件費」の調査の委託を受け、受託契約をした。
- 9.18 正副支部長会を支部事務所で開き、京都支部創立30周年記念大会の実施の細部を協議した。
- 10.16 支部創立30周年記念大会実行委員会を社会福祉会館で開催し、大会実施の細部につき協議した。
- 10.20 京都府中小企業総合センター開所式が行なわれ、黒崎副支部長が出席した。
- 10.30~31 本部創立35周年記念大会が、東京虎ノ門パストラルで開催され、黒川支部長、堀村、黒崎副支部長、片岡常任理事及び下島会員が出席し、表彰式、トーマス・グレイ氏の記念講演会、並びにパネルディスカッションなどに参加した。
- 11.11 支部創立30周年記念大会を京都タワーホテルで開催し、京都府・京都市・京都商工会議所・協会本部の後援を得て、記念式典を行なった後、記念後演会で「今後の日本・世界の経済見透しについて」と題し、新日本証券調査センター常務取締役 長島恒雄氏の講演を聴講した。(出席者 来賓11名、会員48名、関係企業23名 計82名)
- 11.30 先に京都市から受託した「生産性と人件費」並びに「販売生産性と人件費」に関し、いずれも調査業務を完了し、報告書を提出した。

○会員の消息

・変更

高木 健次 (勤務先所在地) …住居表示の

変更

大阪市中央区本町橋2番8号

(勤務先) なし

(勤務先) 伏見信用金庫本店事業金融部

(勤務先所在地)

京都市伏見区深草西浦町1丁目1番

(事務所名) 経営開発研究所

(勤務先) アサカ㈱

(勤務先所在地)

京都市下京区室町通高辻下ル

(勤務先) 京都信用保証協会中丹支所

(勤務先所在地)

福知山市大字石原小字西屋敷174-1

(勤務先所在地)

京都市左京区岡崎西天王町80-1 スペース岡崎201号

(勤務先) ㈱近畿コンピュータコンサルタント

(勤務先所在地)

大阪市中央区高麗橋1丁目6番10号

三隅 良任 (勤務先) 京都保険歯科医(協)

(勤務先所在地)

京都市中京区御幸町夷川上ル松本町568

(勤務先) 京都商工会議所中小企業相談所洛西支部

(勤務先所在地)

京都市右京区西院東貝川町5四條沢田ビル内

(住所) 京都市左京区上高野隣好町35 スペリオール井口203

(住所・勤務先所在地)

京都市左京区岩倉南平岡町63

(勤務先) (医)鳥井医院

(勤務先所在地)

舞鶴市倉谷1675

(勤務先) ㈱ワコールファミリーウェア事業部

(勤務先所在地)

京都市南区吉祥院中島町29

・脱退

高木 忠夫

河本慶之助

元. 10. 29 死去

会員の頁

謹 迎 新 年

1990 年 新 春

中小企業診断士

(社) 中小企業診断協会京都支部有志

<p>大 木 徹</p> <p>京都市東山区問屋町通五条下る 3丁目</p> <p>TEL 561-6171~4 〒605</p>	<p>品川 弥太男</p> <p>京都市左京区一条寺松原町101</p> <p>TEL 721-4078 〒606</p>	<p>原 納 昭</p> <p>京都市伏見区桃山町山ノ下51-29</p> <p>TEL 611-9696 〒612</p>
<p>大 幡 義 夫</p> <p>京都市下京区黒門通五条下る</p> <p>TEL 351-2552・6860 〒600</p>	<p>高 木 健 次</p> <p>京都市北区大將軍西町80</p> <p>TEL 463-8877 〒603</p>	<p>船 越 昇</p> <p>相楽郡精華町祝園1丁目5-12</p> <p>TEL 07749-4-3695 〒619-02</p>
<p>奥 平 恒 巳</p> <p>京都市西京区大枝西新林町6-15-3</p> <p>TEL 331-1204 〒610-11</p>	<p>城 道 雄</p> <p>京都市右京区嵯峨野神ノ木町 20-28</p> <p>TEL 881-2135 〒616</p>	<p>堀 村 清 蔵</p> <p>京都市下京区西洞院通七条上る</p> <p>TEL 361-4455(代) 〒600</p>
<p>片 岡 憲 男</p> <p>京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222</p> <p>TEL 256-1880(代) 〒604</p>	<p>玉 垣 勲</p> <p>京都市西京区川島尻堀町31-6</p> <p>TEL 391-5963 〒615</p>	<p>村 上 薫</p> <p>長岡京市神足神田8-20</p> <p>TEL 075-955-0609 〒617</p>
<p>木 津 要 三</p> <p>京都府八幡市西山足立9-5</p> <p>TEL 983-3271 〒614</p>	<p>常 松 明</p> <p>大阪府高槻市安満中の町8-7</p> <p>TEL (0726)82-7779 〒569</p>	<p>村 上 泰 三</p> <p>京都市上京区大宮通下立売上る家 永町769</p> <p>TEL 841-6709 〒602</p>
<p>黒 川 倉 市</p> <p>京都市中京区丸太町通東洞院東入 る藤原ビル</p> <p>TEL 211-6010 〒604</p>	<p>中 窪 嘉 邦</p> <p>京都市右京区御室小松野町31の3</p> <p>TEL 462-7497 〒616</p>	<p>森 川 八 十 一</p> <p>京都市北区紫野中十二坊町28-2</p> <p>TEL 463-6972 〒603</p>
<p>黒 崎 徳 之 助</p> <p>京都市上京区浄福寺通下立売下る 中務町490-19</p> <p>TEL 801-0501(代) 〒602</p>	<p>中 野 善 蔵</p> <p>京都市上京区西日暮通丸太町下 る四丁目802</p> <p>TEL 811-2750・8732 〒602</p>	<p>山 口 敏 雄</p> <p>京都市左京区吉田近衛町26の62</p> <p>TEL 761-1514 〒606</p>
<p>塩 内 長 俊</p> <p>京都市北区大宮玄塚北東町1-7</p> <p>TEL 492-7044 〒603</p>	<p>浜 本 勝 一 郎</p> <p>舞鶴市行永東町10-3</p> <p>TEL 0773-62-4365 〒625</p>	<p>(アイウエオ順)</p>

企業の頁

選ばれたコーヒー豆
力強い“看板”です



小川珈琲株式会社

京都市右京区西京極北庄境町20番地

電話 (075) 313-7333(代)

滋賀営業所 滋賀県野洲郡野洲町三上神守田498

電話 (07758) 8-1147(代)



営業品目 時計・貴金属・喫煙具・万年筆・
舶来雑貨・ゴルフ用品・電化製品

本店/二条通河原町西 ☎ 211-3408代

支店/百万辺電停東 ☎ 781-4608

支店/京都駅前近鉄百貨店内

グランマルシェ 2F

和装・洋装のブライダルコスチュームをはじめ 魅惑的なゲスト・フォーマルの衣裳を豊富に
取揃えてお待ちしております。



Tokyo・Kyoto・Osaka

京都 ■京都市下京区五条通河原町西 TEL 075 (351) 7722(代) 〒600

大阪 ■大阪市北区天神橋 3丁目11-16 TEL 06 (351) 7777(代) 〒530

東京 ■東京都港区南青山 3-1-28 TEL 03 (402) 2772(代) 〒107

東京都中央区銀座6-9-5 キンザ・コマツ4F TEL 03 (564) 2277(代) 〒104



あとがき

昨年、東欧社会主義諸国に民主化、自由
化の大波が起こり、国内でも元号が昭和か

ら平成に変わりました。その中において、景気の拡大は一年を
通じて持続し、中小企業各社もそのエトリの程度に応じて体
質改善・強化を図っています。中小企業診断士として、個人
の研さんは当然のこととして、より広くネットワークを張り
めぐらし、チームとして新しい事業に取り組むこともふえる
でしょう。ご健康・ご活躍を祈ってやみません。

(編集委員、奥平、塩内、高木、木津、原納、船越、常
松)

診断京都

No. 43

1990年1月発行

社団法人 中小企業診断協会京都支部
〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東
入藤原ビル TEL(075)211-5585

印刷所 真美印刷
TEL (075)821-2136